

希望にみちた若人の願い

……成人者の感想文……

1月15日は成人の日です。この記念すべき日を迎えるにあたり、川越市、教育委員会、選挙管理委員会、公民館連絡協議会の共催で成人者の感想文を募集したところ多くの応募がありました。主催者が、次の10点を優秀作品として選びました。ことし川越市の成人者は、約2700名、大きな希望をもつて、おとな社会にのぞまれることでしょう。

この新しい芽が、立派に育つよう、みんなで協力し、よりよい社会をつくりましょう。

私達は太平洋戦争が始まった年に生れ、小学校始めの頃迄、何かと不足して十分な環境でない時代でした。しかし二十年間の歳月は余りに早く過ぎてしまい、今年成人式を迎えるに当つて、今日はこの式の必要性も考えませんでしたが、人生の大さな「フシリ」として重大なものと感じました。この間は学校生活が大きく占めていますが、これからはこの様な依存的な環境と異り、せんでもしたが、人生の大さな「フシリ」として重大なものと感じました。この間は学校生活が大きく占めていますが、これからはこの様な依存的な環境と異り、

て自己の判断により行動する
が要求されます。社会生活
は、家庭生活を含めた未来に
対して、健美さと安らぎのある
にしたいと考えます。平均
品も延びた今日、今後が本当
人生でしよう。同時に参政権
がそれだけでなく、周囲を開拓す
るに対する、大きな関心を持ちま
す。また、健美さと安らぎのある
なつたというだけで、去年の
分と少しの変りもないような
がする。でも、これからは、
まり無責任な事など言つてしま
れないと思う。

大字 渋井 島村 進

大人下久下戸

泉名 敏子

「歳月人を待たず」とか、瞬の流れの速さに、今更ながらおどろき、この春日に満ちたよき日に、成人式を迎えることに心から喜びを感じ、それとともに今後一人前の社会人（成人）として、立派に生きぬこうと誓つたのでございます。

人間誰しも、努力することにより、必ず前進するものと願います。いかなることでも、こつこつ少しづつ努力を重ねなければ、必ずや成功への灯を見出せます。今までとはとすれば少しの間題、いやいまではとても大きな問題に、父や

母、そして先輩にとたよりがあつたことも、これからはもう、先輩諸氏の遺訓を承わり、大人たちの残した言行を師として、自重に自重を重ね、私たち一人一人の手で片付けねばならないと思います。

こんど、どのような現実に直面したとしても、一度や二度でぎりぎりの状況に陥ることなく、それに打ち勝つ忍耐力を喪なない、心身共に成長しならうことが、私たちに課せられた使命でありましょ

新 日 田 小野田庸昭 成人式を迎える、一個の独立した人格をもつて、私も人間社会の一員となる。この自分自身の成長に対するよろこびと、その當時内には、無限の力を感じる。それゆえ人生に対する想構や、希望には、わき出る泉のごときものがある。

しかし、この広い社会の中に、とび立とうとする不安と、人間社会の存在は、はつきりわからぬものがいる。自分の力の自覚にも、うたがわしきものを感じじる。

けれども人間としての自分の成長を立派に果たして行くには、それら多端の懷疑にちゅうちょすることなく、現在の自分の存

大字下広谷 谷本 紀子 「ご成人おめでとう」思わず微笑の湧く、なんとさわやかな威儀をもつた言葉だろう。

早いもので、二十年の歳月はまたたく間に過ぎ、ここに一人前の大人として扱われるのですが喜びの中にも、一まつの不安をともなう複雑な心境です。

しかし、この神聖な行事を受けすことなく、自らの体験により未来を即ちしなければなりません。

未熟な私たちにとって、何事も修業であり、鍛錬であると思ひ

を感じるよう色んな人生の道に魅力を感じる。やりたい事も叶ふつめた場合満千才になつて成人の日を迎えた生活年命の上だけの成人である。精神的感情的、社会的には成人とはとても云えない。が決して志願はしていない。むしろ将来に対する希望で一杯だ。榮耀への道も夢見るし、地道に自分の道を確実に行く人生にもあがれる。ちょうど小説に登場する主人公が色々あり、そのどれにも興味



合同七つの祝い

＝山田公民館＝

山田地区合同七つの祝いが、12月15日、山田公民館の主催で行なわれました。式がはじまる前、はやく学校に親しんでもらうため、山田小学校の校庭で一年生がオルガンに合せて遊戲を鼠せ、江ひやかなひとときを過ぎました。

消防の特別点検 12月2日、東京都の特別点検が市役所わきでありました。市内9分団350人が整然と並ぶなかで市長が点検し、その後、キビキビしたポンプ操作法を披露しました。

